

新内節

岡本宮之助をきく会II

情と笑い

新旧・聴き比べの巻

2019 11/22

[金]

トーク&ワークショップ
「新内ってなあに」
18:45-20:15

11/23

[土・祝]

演目1
13:30-15:00

演目2
16:00-17:30

出演

浄瑠璃

◆ 岡本宮之助

◆ 岡本宮弥

三味線

◆ 鶴賀喜代寿郎

上調子

◆ 岡本文之助



2017年に続き2回目となる

「新内節・岡本宮之助をきく会」。

今回は新内節で「チャリ物」と呼ばれる

滑稽味のある演目を中心に、古曲と新作

それぞれの「情と笑い」の世界を聴き比べます。

安珍清姫の恋物語・古曲「日高川」は、

渡し舟の船頭の滑稽な描写が聴き所。

宮之助作曲の新作「あいぼれ」は年甲斐もなく

遊女を身請けしようとするご隠居さんの顛末。

古曲「不心底闇鮑」は落語「品川心中」にも通じる、

心しない心中物。

岡本文弥による新作「灸」は流行りのお灸を

据えてもらいにゆく江戸っ子のお話。

笑いの中に散りばめられた人間の哀しき、愛おしき――

新内節ならではの情緒溢れる笑いの世界を

たっぷりとお楽しみ下さい。

演目1

◆ 新内流し

◆ 滝の白糸 新作・原作・泉鏡花「義血快血」岡本文弥作品

◆ 日高川 古曲

◆ あいぼれ 新作・稲田和浩作、岡本宮之助作曲

演目2

◆ 新内流し

◆ 蘭蝶・お宮くぜつ 古曲

◆ 不心底闇鮑 古曲

◆ 灸 新作・岡本文弥作品

トーク&ワークショップ「新内ってなあに」(詳細裏面)
千五百円(定員三十名)
一般 各回三千円(通し五千円)
中・高校生 各回二千円(通し三千円)
新内節公演 (定員各回三十名)

◆ 要申込 ◆ 10月9日受付開始(裏面参照)

◆ 会場 ◆ 砂丘館 座敷・居間・茶の間